



# フォローアップ塾研究成果報告

# 残しておきたい長崎ポर्टレート塾



## ■塾の活動を振り返って■

日常的な「長崎らしい」町並み・建物・景観を写真で残し、「世間遺産」として発表することを目的に22名（男性8名・女性14名）で今年度も昨年度に続き活動していくこととしました。

私たちは、消えていく見慣れた長崎ならではの景観に視点を置き、人の営みが作り上げた景観を「世間遺産」と位置づけ、市民の財産として長く残していくため被写体を写真に捉え、広く発表していきたいと活動展開してまいりました。

近年全国的に「世間遺産」がメディア等で紹介され、地域固有の日常的な風景・街路等の長崎らしさの香りを地域の賑わい創出に繋げるものにしたいと、塾生一同「世間遺産」探しに街歩きを頻度多く実行してまいりました。

平成19年度に続き、今年度フォローアップ事業として視点を身近な生活に密着した風景を求めて、塾生を2班に分け街歩きを展開してきました。

成果物として「世間遺産すごろく」「オリジナルDVD」を作成し、3月7日の伝習所まつりでは、ベルナード観光通りで当塾のパフォーマンスを披露する計画をしております。

## ■塾の目的■

日常の暮らしの中に溶け込み気づかぬうちに消えていく見慣れた長崎ならではの景観に視点を置き、人の営みが作り上げた景観を「世間遺産」と位置づけ、市民の財産として長く残していくため写真として記録に残し、長崎の良さを再発見し、広く発表していくことを目的とします。

## ■塾の研究・活動内容■

平成19年度に活動した成果を基に、今年度はフォローアップとして更に活動を続けました。

7月末にスタートして8月から毎月一回定例会を行い、塾生それぞれが長崎市内を散策し撮った写真を持ち寄り、二科展写真部門で連続入選されている方を招いて、講評してもらうとともに撮影のポイントなどの話を伺いました。

また、9月28日は軍艦島撮影会を企画し18名の参加がありました。



当日は天気も良く波も穏やかで絶好の日となり、参加者は軍艦島が近づくとそれぞれに撮影ポイントを探し、カメラを構えていました。初めて軍艦島を見るというメンバーも多く、長崎の歴史に触れた貴重な日となりました。



このような活動の中で、塾生の間でも知らなかった長崎の風景が多く定例会はいつもにぎやかな雰囲気ですすみ、「世間遺産」候補が多く生まれました。

### ■塾活動の成果■

塾生の作品が多く集まり、何を作るか定例会で話し合いました。自分たちが散策したように、写真を見ながら長崎の街を楽しんでもらえるゲームを作ろうということになり、「路電でGO」というすごろくを作成することになりました。更に2種類のすごろくをつくることになり2班に分かれ1番系統（赤迫～正覚寺）、5番系統（石橋～蛍茶屋）の長崎ならではの路面電車の経路に合わせ、作品を披露し、またサイコロやカードにも多くの写真を活かすことにしました。



11月3日は「長崎ウーマンズウォークラリー」というイベントに参加し、撮影会を行いました。当日は明け方土砂振りの雨でしたが、19名の参加があり、スタートの頃には雨もすっかりあがって楽しく撮影をすることができました。東山手から筑後町までの間、寺町、諏訪町、桜馬場と広範囲に散策できる絶好の機会となり、参加した塾生はコースからはずれながら気になる風景を熱心に撮影しました。



また、塾生全員のこれこそ長崎の「世間遺産」と思う自信の一枚をパネルにし、多くの皆さんに見て頂きたいと思っています。

# 舞台裏おじゃま塾



塾長 柘田 尚子

## ■塾長コメント■

舞台裏おじゃま塾では、昨年度作製した舞台が好きになるハンドブックが好評だったので、本年度は、舞台を実際に利用して発表会などをやってみるときに必要な、ホールを上手に利用するためのヒントをまとめた虎の巻を作成することにしました。ハンドブック作成にあたっては会議だけでなく県外のホールを見学したり、長崎内外の舞台に関係する方々にインタビューを行い、素敵なお話やためになるお話を沢山聞くことができました。

また、長崎歴史文化博物館でのお白州の寸劇見学では、塾生が実際に出演して舞台の雰囲気味わうこともできました。

私たちの3年間でまとまった2つの虎の巻、見かけられたらぜひ手にとってご覧ください。

## ■塾の目的■

この塾では、舞台がまさに動いているその舞台裏を見学したり、スタッフの一人として公演に関わる活動を行っています。また、ホールの舞台裏を見学するバックステージツアーの企画や、ハンドブックの作製、舞台と関わる上で必要なスキルの研修などを通じて、舞台の魅力を市民の皆様にも広くお伝えした

する方法を考え、実践しています。

## ■塾の研究・活動内容■

見学・参加した公演及び実施した講座

- ・5/11(日) ロン通り十三番地  
(F's Company 福岡：西鉄ホール) 見学
- ・8/9(土) ヤンバルの森の音楽会(長崎  
リンガーベルコンサート 長崎：歴史文化  
博物館) 当日スタッフとして参加
- ・12/14(日) 「わたしが市長になったら」  
(長崎市 長崎：長崎ブリックホール) 当日スタッフとして参加
- ・1/10(土) ゆっこ先生の上手な話し方  
講座(長崎ブリックホール) 主催
- ・2/11(水) 長崎歴史文化博物館お白州  
寸劇見学 見学及びスタッフ・出演者として参加

このほか、劇団・太陽族(大阪)の岩崎正裕さんや飛ぶ劇場(北九州)の泊篤志さん、長崎ブリックホールのスタッフのみなさんにインタビューを行いました。

## ■塾活動の成果■

《話し方講座アンケート抜粋》

☆楽しい中での勉強会ができました。今からの活動に役立てたらいいと思いますが、あらためて話すことの難しさを感じました。  
☆色々な話す場での参考になった。

《舞台利用の心得 抜粋》

☆マイクを叩くのはやめて！

マイク調整に叩く方がいらっしゃいますが、あれは間違いです。壊れますよ。

☆あいさつをしよう！

利用者側も劇場の人も、きもちのいいあいさつからはじめましょう。

もっと知りたい方はハンドブックをどうぞ。

舞台裏おじゃま塾 スキルアップ講座開催のご案内

# ゆっこ先生の上手な話し方講座

舞台裏おじゃま塾では、ブリックホールサポーターの皆さんの活動のほか、市内で行われている舞台や演奏会、講演会などの舞台裏に時々おじゃましてイベントのお手伝いなどをさせていただいています。

日頃イベント等のお手伝いをするなかで、MCの方の進行や、来場のお客様への対応をするときのコツを学び、グレードアップしたいと思っていました。

今回NBCの現役パーソナリティーである「石長 由紀子」先生をお迎えし、台本の読み方のコツやインタビューするポイントなどをお話と演習で学びます。

ブリックホールサポーターの皆さんも、ラウンジコンサートやブリックホール探検隊のときなどにきっと役に立つことが学べる機会だと思います。

たくさんの皆様の参加をお待ちしています！！

講師：石長 由紀子先生（NBC ラジオパーソナリティー  
担当番組：ラジオ番付！～ミミソコ～）

日時：平成21年1月10日(土) 10:00～11:30

会場：長崎ブリックホール3F 和室2

対象：舞台裏おじゃま塾生・ブリックホールサポーターほか

申込方法：参加ご希望方は1月7日（水）までにお電話かファックスでご連絡ください。

## 【 申 込 先 】

090-9074-7040

（舞台裏おじゃま塾塾長：ますだ）

090-3607-2021

（舞台裏おじゃま塾担当：かねはら）

\*ファックスの場合は、長崎ブリックホール  
宮原さんへお願いします。

（FAX：095-842-2330）

主催：舞台裏おじゃま塾



舞台裏  
おじゃま塾

# メディエーション研究塾



塾長 梅枝 眞一郎

## ■塾長コメント■

塾活動4年目となった今期の活動は、塾生のスキルアップとメディエーションスキルの社会普及活動が目標であった。今期は、これまで3年間の活動とは少し趣を替え、塾生の調停人としてのスキルアップと普及活動のための講師としてのスキルアップを目指した。一見地味な活動であるが、じっくりと小人数でひとつひとつの基礎的スキルの点検ができたことでさらに理解が深まったように思う。

今期は後半、塾生に講師役をお願いすることで、塾生の伝える技術の向上に繋がり、今後の普及活動の幅が広がったことを実感した。



ロールプレイの様子

## ■塾の目的■

当塾は、身の回りで起きる様々なもめごとを解決する手段として話し合いによる問題解

決のスキル「メディエーション」があることを知ってもらい、それを自ら実践できるよう普及させること、また普及させるための指導者を育成することを目的として開塾した。

## ■塾の研究・活動内容■

### ①例会

毎月1回、基本スキルのおさらいとロールプレイによる演習を行った。当事者双方と調停者役に別れ、それぞれの役を演じた後、上手くいった点、難しかった点などをディスカッションし、気付かなかった点などを補完するよい機会となった。また、時にはオブザーバーをおき、話し合いをする三者とは少し離れた位置から話し合いを見守り、全体を評価するようなことも試みた。

### ②第7回対話シンポジウム

平成20年12月6日・7日、愛知県名古屋市中京大学法科大学院アネックスホールにおいて同大学院法曹養成研究所主催の「第7回対話シンポジウム」が開催され、パネルディスカッションのパネラーとして梅枝塾長が招かれた。



パネルディスカッション

中京大学法科大学院教授稲葉一人先生がコーディネーターとなり、他にパネリストとして愛知県弁護士センター・静岡県司法書士会・

愛媛和解支援センター・早稲田大学紛争交渉研究所から参加された。



「紛争解決機関の現在と未来を考える」

### ③出張講座

平成21年2月13日、長崎市職員を対象とした出張講座を開催した。

塾生が講師となり、飼い犬の吠え声を原因とした近隣問題を例に調停者役、当事者役に別れてもらい、模擬調停を体験して頂いた。問題解決方法の多様性とメディエーションの基礎と実務への有用性をお話した。



長崎市職員対象出張講座

### ④市民公開講座

平成21年3月28日、市民公開講座を開催した。大阪府下の高校でピア・メディエーションプロジェクトを展開するNPO法人「シヴィル・プロネット関西」の皆さんをお招きし、その活動報告をもとに、特に教育問題に対するメディエーションの可能性、社会的実

践について市民とともに考えた。また、後半は、参加者全員を交えてワークショップ（体験型授業）を行った。

### ■塾活動の成果■

昨年4月より当塾の存在をより広く、より多くの皆さんに知らせ、メディエーションスキルの普及を促進するため、ホームページの開設の計画を進めてきた。現在暫定版を掲載中であるが、本年4月を目処に内容を充実し本年度の成果物として正式公開する。

HP アドレス：<http://nmjuku.jp/>

長崎メディエーション塾・市民のための和解支援スキル入門

1/1 ページ

長崎メディエーション塾

長崎メディエーション塾へようこそ

「長崎メディエーション塾」は、長崎市が主催する長崎伝習所の「メディエーション研究塾」を母体として発足した塾です。3年間の「研究塾」での成果をふまえ、市民のための「身近なメディエーション・スキル学びの場」として、次年度(09年)からの新規出版をめざしています。

当面、これまで3年間の「研究塾」のご報告のみを掲載しています。



メディエーションに関する情報発信、普及のための教育活動に積極的に活用したい。

本年度は、塾生のメディエーションスキルの向上と一般市民への社会普及活動に重点を置き、活動を進めてきた。同様の活動を続ける全国の民間団体と交流を深めながら、情報交換を行ってきた。その中で話される共通の思いは、調停をする人材も場所も欠かせないが、さらに重要なのは利用する側にこのような話し合いの方法があることを知ってもらうことだという共通認識であった。

私たちは今後も自らのメディエーターとしてのスキルを磨きつつ、市民メディエーターの発掘とスキル活用の普及を目指していきたい。